

訪問看護ステーションでも 新卒看護師の育成が はじまっています！



今回は、2025年4月から新卒看護師を育成している
「訪問看護ステーションよだくぼ」にお話を伺いました。



にお聞きしました——

管理者

新卒看護師を育成するようになった経緯を教えてください

新卒看護師の育成については、今後の人材育成のためにも数年前より必要性を感じていました。今年度より、看護部の方針にて新卒看護師の育成をすることとなりました。初めての試みでもあり、訪問看護総合支援センターのサポートや他の訪問看護ステーションの経験を教えていただきながら教育プログラムの作成など準備をすすめました。

新卒看護師が就職して4か月たちました。率直に、今どんな思いですか？

新卒看護師が入職したことで確実にスタッフの刺激となり、生き活きと皆で育成しようとする雰囲気があります。

さらにチームワークが強くなったと感じています。新卒看護師が毎日良い表情で休むことなく出勤している姿に先輩看護師も元気をもらっています。また、スタッフが基本に戻り根拠を学び直したり、他のスタッフの指導を聞き、自分の看護を振り返る良い機会となっています。育成方法に迷いを感じるがありますが、新卒者の状況も確認し、スタッフ間で共有し役割分担をしながら同じ方向を向いていけるよう心掛けています。今後も新卒者が訪問看護のやりがいを感じ、長く活躍できる環境づくりを目指して体制整備に取り組みたいと思います。



にお聞きしました——

新卒看護師

訪問看護ステーションへの配属を聞いたとき、どう思いましたか？

まさか私かと思い、とても驚きました。それと同時に、ベテラン看護師しかいない訪問看護で働いていけるのかという不安も強く感じていました。



現在は「ベテラン看護師に何でも指導が受けられる」というポジティブな気持ちに切り替わっているそうです！

訪問看護ステーションに配属になり4か月たちました。率直に、今どんな思いですか？

それぞれ利用者さんの自宅で援助を行うことは、使用物品や機材、自宅の環境が異なるため、覚えることや注意点が違います。また家族が購入したものを使用させていただくため、無駄にできないというプレッシャーみたいなものを感じ、大変だなと思いました。配属前は不安を強く感じていましたが、今では気持ちを切り替えて在宅ならではの看護を学べること、利用者さんの生活を見ることができることなど、病院内では経験できないことを学んだり、利用者さんを知る上で在宅サービスや地域との連携、院外の多職種との連携などの業務もあり、やりがいがあると感じています。

配属された時は、利用者さんを覚えることや技術の習得に力を入れていましたが、少しずつ慣れてきたと思います。看護に対して利用者さんから報酬を頂いているため責任も大きいです。アセスメントや薬剤の知識など看護に必要な知識を身につけ、看護師としての力をつけることが課題であると思っています。

訪問看護総合支援センターでは
新卒看護師育成をサポートさせていただきます。
一緒に新卒訪問看護師育成に取り組みましょう！

(公社) 長野県看護協会 訪問看護総合支援センター
☒: c-houmon@nursen.or.jp
☎: 0263-35-0421(代表) 090-1990-8469(直通)